

日本史 A 復習プリント

【課題】今まで習ってきた歴史の授業を振り返り、次の（ ）の中に適する語句を記入してみよう。

(16) (21) (24) の（ ）には、政策例をいくつか入れてみよう。

[江戸時代の概略史]

1600年（1 ）が行われる

徳川家康が（2 ）を破り、権力を掌握

（3 ）年徳川家康が（4 ）に就任＝江戸幕府の開設

1605年徳川家康、将軍の位を（5 ）に譲る＝第2代将軍

1615年大坂夏の陣により豊臣秀頼が自害し、豊臣家が滅亡

（6 ）を制定して武家に対する統制を行う

1635年第3代将軍に（7 ）が就任

1) 「鎖国」政策を実施

1637年島原の乱勃発後（8 ）に対する禁教が更に強化される

1639年ポルトガル船の来航を禁止、

1641年（9 ）を長崎の（10 ）に移し鎖国完成

2) 諸大名に（11 ）を命じる

1651年第4代将軍に（12 ）が就任～文治政治に転換

1680年第5代将軍に（13 ）が就任

（14 ）文化が開花するがしかし幕府の財政は赤字に転落

殺生禁断を命ずる（15 ）を發布したが、庶民が苦しむ

1709年第6代将軍に（16 ）が就任

1713年第7代将軍に（17 ）が就任

しかし貨幣経済の進展に伴って武士の窮乏、農民の困窮と階層分化が進行、幕政改革が急務となる

1716年第8代将軍に（18 ）が就任←紀州藩主より就任

（19 ）の改革を実施

商業資本の統制、増税と新田開発、倭約令の励行による財政再建を目指す

改革の内容；（20 ）

1745年第9代将軍に（21 ）が就任～享保の改革政治を後退させる

1760年第10代将軍に（22 ）が就任

側用人の(23)を登用

商業資本の積極的利用を図るが賄賂政治の横行により失脚

間山の噴火が発生、(24)の大飢饉が勃発し、社会不安が増大

1787年第11代将軍に(25)が就任

老中に(26)を登用、(27)の改革を実施

改革の内容；(28)

しかし、数年で松平定信は引退し、(26)の改革は終る

以後は大御所時代と呼ばれる放漫で無統制な幕政が展開され、幕府の衰退が急速に進行、江戸を中心に(29)文化と呼ばれる庶民文化が栄える

疲弊した農村で百姓一揆、都市で民衆による打ち壊しが頻発

1837年第12代将軍に(30)が就任

老中に(31)を登用

(32)の改革を実施

享保・寛政の改革を理想とする復古主義的な内容

改革内容；(33)

しかし極端な緊縮財政と風紀の肅正は諸大名を始め民衆の反発を買い、まもなく失脚。最後の幕政改革は失敗に終わる

*この頃、(34)藩や(35)藩は藩政改革に成功し幕末に

討幕勢力として台頭

<この頃の情勢>

幕藩体制内部の矛盾が激化

1837年(36)が勃発～大阪の元与力が起こす

欧米列強の接近→鎖国体制の動揺

1792年ロシアの(37)が(38)に来航

1804年ロシアの(39)が(40)に来航

1808年長崎で(41)が勃発～イギリス船が長崎湾に乱入

1825年幕府は(42)を発し外国船への発砲を指示

1842年幕府は天保の薪水給与令を發布～アヘン戦争で清朝が敗北したため

1853年第13代将軍に(43)が就任

アメリカの(44)が浦賀に来航し開国を要求

3年()組()番()